

くり(利平)の裂果防止

農業研究センター 果樹研究所 落葉果樹部

研究のねらい

くり(利平)は果実の蒸しくり品種としての品質は優秀であるが、果実の頂部が裂果し商品性が低下するのが欠点である。このため、裂果を防止するために、成熟最盛期前に採収した果実が裂果や品質に及ぼす影響を調査した。

研究の成果

1. 利平の裂果を防止するため、成熟前に穂を採収し裂果の程度と果実品質を調査した。
2. 成熟最盛期 20 日前に採収した穂は緑色を呈し、裂開も無く、果実も着色がみられず、未熟の状態、20 日間の追熟後の果実は裂果はみられないものの、果重は軽く、比重も低く、品質は不良であった。
3. 成熟最盛期 15 日前に採収した穂はやや緑色から黄緑色に変化していた。穂の裂開は無く、果実は着色がみられ、15 日間の追熟後の果実は裂果は殆んどみられず、果重は軽く、比重も低く、品質はやや不良であった。
4. 成熟最盛期 10 日前に採収した穂は黄緑色が多くみられたが、穂の裂開は無く、果実は着色がみられ、10 日間の追熟後の果実は裂果はややみられ、果重はやや重くなり、比重も高くなった。品質は中程度であった。
5. 成熟最盛期 5 日前に採収した穂は黄緑色～褐色を呈し、穂の裂開もみられ、果実は完全着色果が多くなった。5 日間の追熟後の果実は裂果はかなりみられ、果重は重くなり、比重も高くなった。品質は成熟最盛期の果実と差は見られなかった。
6. 成熟最盛期 5 日後に採収した穂は殆んどが褐色を呈し、穂の裂開も大きく、果実は完全着色果ばかりであった。裂果は多く、果重は重く、比重も高くなり、品質は成熟最盛期の果実と差は見られなかった。
7. 以上のことにより、裂果を防止するためには、収穫最盛期より 5 ~ 10 日前に穂を収穫し、日陰で 5 ~ 10 日間追熟した後に剥穂すれば、成熟最盛期に比べて、裂果は 10 ~ 30 % 減少し、裂果の程度も軽くなる。なお、穂の成熟は日当たりの良いところから始まるので、穂の緑色の変化をみて 2 ~ 3 回に分けて行う。

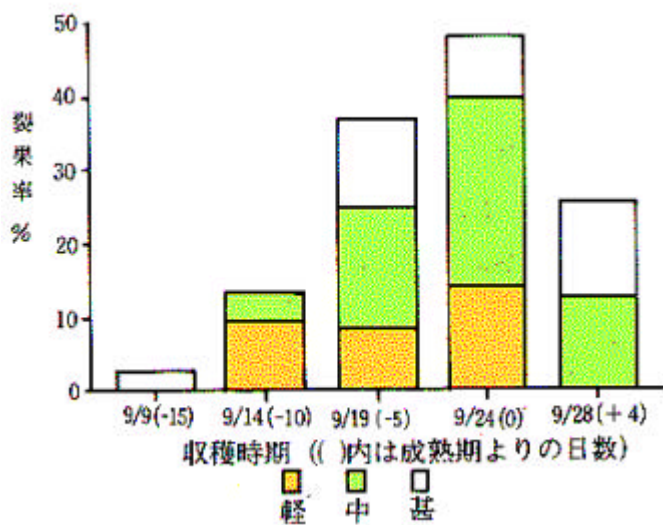


図1 裂果程度（平成4年度）

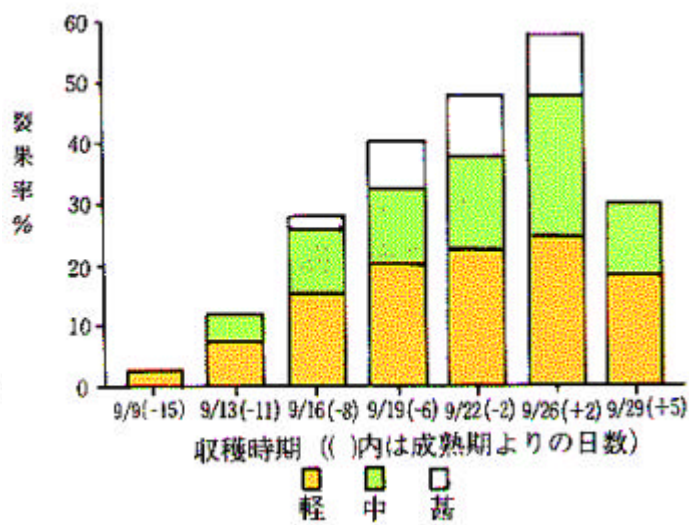


図2 裂果程度（平成6年度）

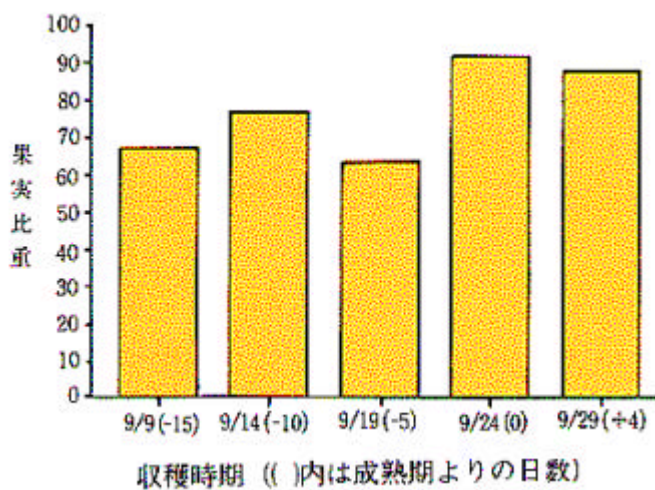


図3 果実比重（平成4年度）

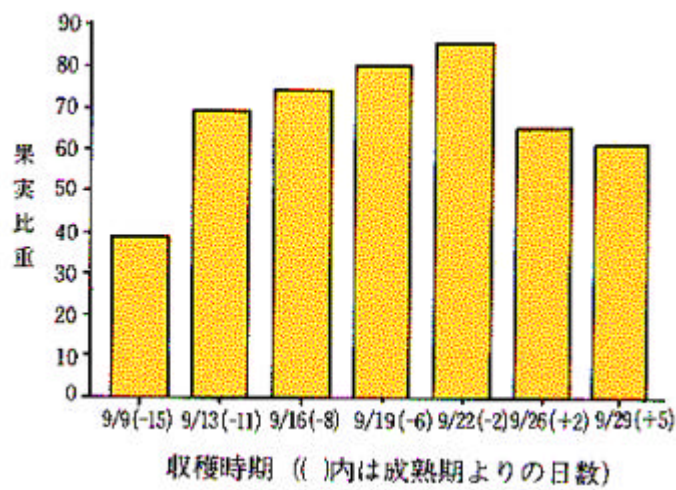


図4 果実比重（平成6年度）